



市長 西村和平

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

2018年を振り返ると「今年の漢字」が「災」となったように、昨年度は豪雨災害をはじめ地震等、自然災害の多い年でありました。幸いにも加西市は大きな被害はありませんでしたが、各校区の小学校を避難所として初めて開設し、またタウンミーティングでも、各地区から防災に関するご意見を頂戴する中で、災害に強いまちづくりの重要性を再認識したところ です。

加西市は、「5万人都市再生」という大きな目標を掲げ、人口増に向けた地域活性化対策と市民が健康で安心して暮らすことができるまちづくりを進めております。その結果、人口統計においては、平成10年以降毎年200～300人の社会減が続いており、平成28年度は93人の減、29年度は21人の減でしたが、本年度は11月末時点で161人の増となり、大きく改善しました。また、ふるさと納税は、制度開始の平成20年度と29年度実績を比較すると、109倍の6億3千万円となり、県下で2位の寄付額となりました。さまざまな施策を通して、職員の熱き思いが市民へ伝播し、加西市がよい方向に進んでいることを実感しています。

本年5月には、元号が変わり新しい時代がスタートいたします。この時代の転換期に、加西市は3つの大きな事業を進めています。インター周辺の産業団地の創出、鶉野飛行場跡地周辺の整備、そして北条旧市街地の活性化です。これらは、未来を担う子供たちへ、ふるさと加西の発展のために、これからの50年を見据えた大切な事業です。そして、いずれも加西市の将来を左右する大きな事業でもあります。これらの事業を軌道に乗せ、加西市の発展に全力を注いでいきたいと考えております。

結びに、市政への一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



7月28日に宇佐市、鹿屋市、姫路市と「空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会」を設立



議長 衣笠利則

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、清々しく新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。平素より市議会の運営ならびに活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨、さらに9月の北海道胆振地方中東部を震源とする大地震が発生し、日本各地に甚大な被害をもたらしました。ここ数年、地震や異常気象による集中豪雨などが頻繁に発生しており、いつ起こるかわからない大規模な自然災害に備えて、あらためて防災・減災の取り組みの必要性を強く感じるところです。

昨年、加西市にとって待望の先駆タイプの地方創生推進交付金が採択されました。今後はこの交付金を活用し、鶉野飛行場跡地で地域活性化施設の整備が進んでいきます。また、加西インター周辺の産業団地整備の大型プロジェクトや地域医療の核となる市立加西病院の将来構想など、今後の加西市のかたちをつくる重要課題が控えております。このような状況の中、二代表制の一翼を担う議会は、活発な議論を尽くし、市民の皆さまが安心して心豊かに暮らせる社会の実現のために最適な解を求めていきます。市議会では、平成22年の制定以降2回目となる議会基本条例の見直しを行いました。また、予算と決算を一体的に審査するために新たに予算決算常任委員会を設置する条例改正を行うとともに、議員が本会議等を長期欠席した場合に議員報酬を減額する条例を12月議会で制定しました。

今年は、5月に改元がなされ、平成の時代が終わり、新たな時代の幕開けとなります。この新しい時代に希望が持てる加西市としていくために、議員一同全力で取り組んでまいりますので、市民の皆さまのより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまにとりまして今年一年が幸多き、素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



市民との意見交換会



新年あけましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は加西市の教育行政の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

教育委員会では、加西市教育大綱を踏まえ、加西市教育振興基本計画に示される「新しい時代を切り拓くところ豊かで自立した人づくり」を基本理念とし、学校・家庭・地域が一体となり、全国に誇れる「教育都市かさい」の実現をめざしています。この理念に基づき、次の3点に重点をおいて教育行政を推進していきたいと考えています。

### 教育長 兼松儀郎

1点目は、生きる力の育成です。知識基盤社会の到来や少子高齢化など、社会変化が進んでいく中で、子どもたちに生きる力を育むことがますます重要となっています。「確かな学力」の育成が目指されている今日、主体的な学びへと促すため、人間として生きる知恵の体得や新たな課題に積極的にチャレンジする精神の育成に努めます。また、幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培うものであり、小学校へと円滑につないでいくため連携の深化を図ります。

2点目は、地域に根ざす教育です。加西市には豊かな自然、伝統・文化があり、このような教育資源に着目して、地域で実際に体験したり探求したりする学習の充実を図り、地域への愛着や誇りを育んでまいります。子どもたちが自己の生き方を考え、他者とのつながりや社会との関わりを感じとってほしいと願っています。

3点目は、教育環境づくりです。生き生きとした学校・園づくりには、教育環境づくりが重要です。これからの教育の方向性を見据えつつ、今後の学校の在り方や教育環境の整備等について検討し、未来を担う子どもたちのための教育環境づくりをめざします。また、より親しみやすい図書館運営や公民館活動の充実に努めるとともに、歴史文化遺産の包括的な保護と活用を図ります。

皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



獅子舞とのふれあい

## よりよい地域づくりに貢献された皆さん

問合せ先／秘書課 ☎42-8701 fax43-0291  
hisho@city.kasai.lg.jp

### こうのとり賞・くすのき賞

よりよい地域づくりに貢献された次の皆さんが、兵庫県から表彰されました。個人には「こうのとり賞」、団体には「くすのき賞」が贈られました。

	氏名	活動内容
くすのき賞	岩国恵子さん（中富町）	給食調理ボランティアとして、一人暮らしの高齢者等のために栄養バランスと彩りを考慮したお弁当を作り、在宅福祉の向上に尽力
	尾内良三さん（中野町）	加西ナチュラルリストクラブの会長として、地域のボランティアグループの後進育成や緑化技術活動の指導を行うなど美しい地域づくりに貢献
	岡田美智子さん（網引町）	給食調理ボランティアとして、一人暮らしの高齢者等のために栄養バランスと彩りを考慮したお弁当を作り、在宅福祉の向上に尽力
	金澤由利子さん（上道山町）	給食配達ボランティアとして、一人暮らしの高齢者等へ給食を届けるとともに、会話をすることで安否確認を行うなど、在宅福祉の向上に尽力
	頃安千津子さん（満久町）	給食調理ボランティアとして、一人暮らしの高齢者等のために栄養バランスと彩りを考慮したお弁当を作り、在宅福祉の向上に尽力
	深田とき子さん（下宮木町）	更生保護女性会会員として、地域の犯罪予防活動などに尽力
	藤田陽子さん（北条町栗田）	給食調理ボランティアとして、一人暮らしの高齢者等のために栄養バランスと彩りを考慮したお弁当を作り、在宅福祉の向上に尽力
こうのとり賞	配食サービス調理ボランティアグループ	給食調理ボランティアとして、一人暮らしの高齢者等のために栄養バランスと彩りを考慮したお弁当を作り、在宅福祉の向上に尽力
	根日女花倶楽部	主要地方道多可北条線の加西 IC 前交差点から玉野交差点間の植栽帯の花弁植栽管理を行うなど美しい地域づくりに貢献